

施設報告

BL-3A, 3B, 3C, 6C 報告 (建設・移設)

物質構造科学研究所 PF 岩住俊明

放射光科学研究施設では直線部増強作業が行われ既存の中長直線部が長くなり新たに4カ所の短直線部が作り出された。PFが今後も他の第3世代放射光施設と比較して競争力を維持し続けるためには、リングエネルギーから考えて中長直線部には軟X線領域のアンジュレータを設置するのが妥当である。それを実現するには、これまで中長直線部挿入光源を利用してきたX線領域の利用研究を他のビームラインへ移動する必要がある。長直線部に設置されたマルチポールウィグラーを光源とするBL16Aではこれまで主として共鳴X線散乱法を用いた構造物性研究が展開され、高い評価を得ている。このような研究活動の維持・発展のため、新設短直線部に設置されX線領域の高輝度光を供給可能なSGUを光源としたBL3へ移動した。それに伴い既存のBL3AをBL6Cに移設し、BL3Bおよび3Cの一部改造を行った。これらの作業に従事したスタッフは以下の通りである(敬称略、五十音順)；

新BL3A建設	：澤博、平野馨一、森丈晴、若林裕助
BL3B改造	：東善郎、伊藤健二、菊地貴司、豊島章雄
BL3C改造	：安達弘通、張小威
BL6C改造	：内田佳伯、岡本渉、兵藤一行
インターロック・制御	：伊藤健二、小菅隆、斉藤裕樹、濁川和幸
基幹チャンネル	：浅岡聖二、前澤秀樹、宮内洋司
挿入光源	：佐々木洋征、塩屋達郎、土屋公央、山本樹